



2021年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年3月16日

上場会社名 株式会社 ツルハホールディングス
 コード番号 3391 URL <http://www.tsuruha-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴羽 順

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 村上 誠

TEL 011-783-2755

四半期報告書提出予定日 2021年3月30日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第3四半期の連結業績(2020年5月16日～2021年2月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	683,914	9.3	39,710	8.7	39,337	5.2	22,556	3.2
2020年5月期第3四半期	625,608	6.7	36,528	15.7	37,405	14.5	23,303	19.8

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 26,105百万円 (6.6%) 2020年5月期第3四半期 27,957百万円 (70.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	465.31	463.35
2020年5月期第3四半期	481.87	480.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第3四半期	468,706	272,961	53.3	5,151.21
2020年5月期	414,002	250,934	56.4	4,821.26

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 250,023百万円 2020年5月期 233,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		74.00		93.00	167.00
2021年5月期		83.50			
2021年5月期(予想)				83.50	167.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年5月16日～2021年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	920,000	9.4	49,000	8.9	48,400	4.5	27,000	3.2	557.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 有 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期3Q	49,423,368 株	2020年5月期	49,282,868 株
期末自己株式数	2021年5月期3Q	886,630 株	2020年5月期	886,255 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期3Q	48,475,884 株	2020年5月期3Q	48,360,734 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化により上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年5月16日～2021年2月15日)における経済情勢は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い4月に政府が緊急事態宣言を発出したことなどにより、消費者マインドの著しい低下が見られました。その後緊急事態宣言の解除を受け、徐々に経済活動の再開の動きが見られたものの、その後も断続的に感染が再拡大し、2021年1月には再び一部地域で緊急事態宣言が発出されるなど、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

ドラッグストア業界においては、競合他社の出店や価格競争が引き続き激化しているほか、大手企業・上場企業を含めた統合・業界再編への動きがさらに強まっております。

このような状況のもと、当社グループではカウンセリングを主体とした接客サービスの徹底を継続して行うとともに、高齢化や競争激化に伴う商圈縮小に対応すべく利便性の強化を図るため、精肉・青果の導入をはじめとする既存店舗の改装を推進したほか、プライベートブランドにおいては、商品開発・販売体制を強化し、当社グループの新たなプライベートブランド「くらしリズム」「くらしリズムMEDICAL」への刷新と展開拡大を図りました。また、店舗運営業務の効率化を図り生産性を高めることを目的に、人員配置・在庫管理等をサポートするシステムの導入店舗拡大に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響については、インバウンド需要の落ち込みや化粧品等の需要減があったものの、感染予防関連商材の需要増、緊急事態宣言等による外出自粛に伴う日用品・消耗品、食品等の需要増が見られました。

店舗展開につきましては、ドミナント戦略に基づく地域集中出店および既存店舗のスクラップアンドビルドを推進したことにより、期首より86店舗の新規出店と55店舗の閉店を実施いたしました。また2020年5月28日付で子会社化したJ R九州ドラッグイレブン株式会社など207店舗が加わり、当第3四半期末のグループ店舗数は直営店で2,388店舗となりました。

当社グループの出店・閉店の状況は次のとおり

(単位：店舗)

	前期末 店舗数	出店	子会社化等	閉店	純増	第3四半期 末店舗数	うち 調剤薬局
北海道	404	13	-	10	3	407	100
東北	506	21	-	1	20	526	104
関東甲信越	473	22	3	10	15	488	167
中部・関西	233	11	-	13	-2	231	119
中国	300	8	2	3	7	307	98
四国	211	8	-	6	2	213	57
九州・沖縄	23	3	202	12	193	216	24
国内店舗計	2,150	86	207	55	238	2,388	669

上記のほか、海外店舗22店舗、F C加盟店舗4店舗を展開しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は6,839億14百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益397億10百万円（同8.7%増）、経常利益393億37百万円（同5.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益225億56百万円（同3.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて547億3百万円増加し、4,687億6百万円となりました。おもな要因は、J R九州ドラッグイレブン株式会社の株式取得と新規出店に伴う商品の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて326億77百万円増加し、1,957億44百万円となりました。おもな要因は、J R九州ドラッグイレブン株式会社の株式取得等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて220億26百万円増加し、2,729億61百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は3.1ポイント減少し、53.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,069	64,541
売掛金	31,180	34,899
商品	108,163	125,011
原材料及び貯蔵品	48	130
短期貸付金	2	2
その他	15,312	17,388
流動資産合計	211,776	241,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	37,454	42,359
機械装置及び運搬具（純額）	1	0
工具、器具及び備品（純額）	10,681	12,180
土地	12,597	13,558
リース資産（純額）	3,592	4,609
建設仮勘定	2,483	3,861
有形固定資産合計	66,810	76,569
無形固定資産		
のれん	32,121	39,824
ソフトウェア	423	689
電話加入権	87	105
その他	624	676
無形固定資産合計	33,258	41,295
投資その他の資産		
投資有価証券	37,372	38,539
長期貸付金	13	11
繰延税金資産	5,175	5,559
差入保証金	55,242	60,235
その他	4,420	4,586
貸倒引当金	△67	△63
投資その他の資産合計	102,157	108,868
固定資産合計	202,225	226,733
資産合計	414,002	468,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月15日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	93,968	98,358
1年内返済予定の長期借入金	1,903	7,500
未払金	14,889	14,867
リース債務	517	540
未払法人税等	8,897	7,400
賞与引当金	4,916	3,096
役員賞与引当金	614	465
ポイント引当金	4,107	4,425
その他	6,459	6,320
流動負債合計	136,274	142,975
固定負債		
長期借入金	5,250	28,600
リース債務	3,945	4,949
繰延税金負債	8,328	8,451
退職給付に係る負債	3,043	3,511
資産除去債務	2,932	3,623
その他	3,292	3,632
固定負債合計	26,793	52,768
負債合計	163,067	195,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,290	11,247
資本剰余金	28,342	29,300
利益剰余金	175,590	189,593
自己株式	△5,312	△5,312
株主資本合計	208,911	224,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,554	25,280
退職給付に係る調整累計額	△132	△86
その他の包括利益累計額合計	24,421	25,194
新株予約権	1,639	1,553
非支配株主持分	15,962	21,385
純資産合計	250,934	272,961
負債純資産合計	414,002	468,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月16日 至 2021年2月15日)
売上高	625,608	683,914
売上原価	444,895	485,881
売上総利益	180,713	198,032
販売費及び一般管理費	144,185	158,322
営業利益	36,528	39,710
営業外収益		
受取利息	98	101
受取配当金	185	193
備品受贈益	545	475
受取賃貸料	159	167
受取保険金	9	47
その他	498	488
営業外収益合計	1,497	1,473
営業外費用		
支払利息	465	472
休業店舗関連費用	—	451
中途解約違約金	108	866
その他	45	55
営業外費用合計	619	1,846
経常利益	37,405	39,337
特別利益		
固定資産売却益	6	6
投資有価証券売却益	102	—
新株予約権戻入益	—	223
特別利益合計	108	230
特別損失		
固定資産除却損	149	74
固定資産売却損	—	0
減損損失	—	275
災害による損失	—	38
投資有価証券売却損	74	—
特別損失合計	223	388
税金等調整前四半期純利益	37,291	39,178
法人税等	12,038	13,906
四半期純利益	25,252	25,272
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,949	2,716
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,303	22,556

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月16日 至 2021年2月15日)
四半期純利益	25,252	25,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,661	783
退職給付に係る調整額	43	50
その他の包括利益合計	2,704	833
四半期包括利益	27,957	26,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,977	23,329
非支配株主に係る四半期包括利益	1,980	2,776

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（会計方針の変更）

（税金費用の計算方法の変更）

従来、当社および連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社および連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。